

11月は児童虐待防止推進月間です

「しつけ」のつもりで「虐待」になっていませんか？

しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーなどを身につけるよう教え、導くことです。子どもの発達や理解度に配慮しながら行っていくもので、暴力などで従わせておこなうものではありません。

未来へと
命を繋ぐ
189 (いちはやく)



いち はやく
189

児童相談所
全国共通
3桁
ダイヤル



オレンジリボンには
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。

お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部のIP電話からつながりません。※通話料がかかります。



連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。



- 子育てに
体罰や暴言を使わない
- 子どもが親に
恐怖を持つとSOSを
伝えられない
- 爆発寸前のイライラを
クールダウン
- 親自身が
SOSを出そう
- 子どもの気持ちと
行動を分けて考え、
育ちを応援

■問い合わせ 下諏訪町相談ホットライン 電話27-3204 (平日午前9時～午後5時)

歯科コラム dental column

vol.1 手術や抗がん剤治療が決まったら歯科へ行きましょう

病院などで行う大きな手術は全身麻酔で行います。全身麻酔は、口から気管にチューブを通して肺に空気を送ります。口の中は直腸に次いで細菌の多い場所であるため、日頃から定期的に歯科医院に通うなどして適切な口の中の管理ができていないと、チューブ周囲に細菌が付着して肺に進入し、手術後に肺炎を引き起こすことがあります。また、手術や抗がん剤治療を受けると一時的に通常よりも免疫力が下がることがあり、口の中の細菌による感染症を発症しやすくなるほか、口の中もさらに荒れてしまうことがあります。さらに、手術後は一時的に食事がとれない絶食期間があることが多く、口の中が乾燥してきます。また抗がん剤治療では、薬の副作用で唾液腺のはたらきが弱くなり、口の中が乾燥します。このように口の中の唾液が減少することで、唾液によって抑えられていた細菌の活動が活発になり、細菌が爆発的に増殖することもあります。そのため、治療の前にできるだけ口の中の細菌を減らすことが大切です。

最近の研究によると、手術前に適切な口腔ケアを行った患者は、そうでなかった患者に比べて、手術後の入院日数が減少しているという統計も出ています。

以上より平成24年から、がんの治療、心臓の手術、臓器移植などを受ける患者さんに対し、治療中の合併症防止を目的に、歯科で治療前後の口の中の管理（周術期口腔機能管理）をおこなうことが医療保険制度として導入されました。

治療前に、歯科医師が口の中を確認、抜歯を含め緊急性の高い歯に対し応急処置をし、歯科衛生士よりブラッシング指導や、歯石除去、歯面研磨を行い、治療の前にできるだけ細菌の数を減少させます。この管理により術後肺炎や細菌感染症などの合併症が減少し、より安全に治療が進むようになるだけでなく、合併症の減少により予定外の医療処置が不要となり、医療費削減にも大きな効果があります。

手術や抗がん剤の治療が決まったら、できるだけ歯科へ行くようにしましょう。



■問い合わせ 岡谷下諏訪歯科医師会 FAX 23-1805

しもすわフォトストーリー まちの話題を写真でご紹介します。



7/12 (木) 諏訪地域6市町村 物資供給・防災教育で2企業と災害時協定締結

諏訪地域6市町村は、発泡スチロールの製造販売する興亜化成（伊那市）と防災教育活動に取り組んでいるHARIO（東筑摩郡朝日村）と災害時の生活物資供給、防災教育支援に関する協定を結びました。

協定は、2社が災害時に発泡スチロール性の簡易トイレやマットなど避難所に必要な日用品の供給、また、災害に備え防災教育をする際に支援をする内容になっています。

7/17 (火) 豪雨災害の広島県尾道市に派遣 県代表第1派遣隊に下諏訪町から1名

西日本豪雨災害で被災した広島県尾道市に岡谷、諏訪、下諏訪2市1町の合同チームが18日～24日派遣され、当町からは1名の職員が派遣されました。

当職員は、土木技術者として、尾道市職員と山間地域の被災地を回り約40ヶ所の被害規模を調査し、災害査定設計書の作成を担当しました。

帰庁報告では「今後下諏訪町でも災害が発生するかもしれない。その際は派遣業務を生かしたい。」と述べていました。



7/21 (土) 姉妹都市提携記念事業 「町民号」で夏の南知多町を満喫

愛知県南知多町との姉妹都市提携を記念した日帰りバスツアーを実施し、町民64名が参加しました。

海の町ならではの海鮮料理の昼食を楽しんだ後、海水浴や魚のつかみどり体験をする「海コース」と一面に広がるひまわり畑を散策する「花コース」に分かれ、それぞれ夏の南知多町を楽しみました。また、「鯛まつり」の鯛を見学するなど、南知多町の文化に触れることもできました。

7/25 (水) 子どもたちに防災・減災の大切さを 避難所想定キャンプ

南小学校5年生は昨年に引き続き、学校行事のキャンプの中で「感環自然村」から講師を招き防災、減災について学びました。

初日は、新聞紙を材料にした防災スリッパづくりやキッチンペーパーを使ったマスクづくりなどを体験しました。その他に、夕食ではビニール袋で米を炊く方法を学び、夜は毛布を使った寝袋づくりに取り組みました。

